

山ぼうし

第26号 平成19年 5月31日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、
花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし
の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



「子は親の鏡」

校長 兼 平 栄 補

5月12日(土)PTA総会が行われました。参加された保護者の皆様にお礼申し上げます。

挨拶の中で家庭と学校の連携についてお願いいたしました。家庭教育は、これからの変化の激しい社会において、人間として生きていくための基礎的な資質や能力を育成するもので、人格形成に大きな役割を担っています。子どもの教育や人格形成に関して最終的な責任を負うのは家庭であることを再認識していただきたいと思います。

家庭における生活習慣が個人的生活習慣に大きく影響します。子どもは親の言われたとおりにするというよりも、見ているとおりにするといわれます。

ある研修会で次のような詩に出会ったので紹介します。

「子は親の鏡」

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込み思案な子になる

親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つ

ようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

（「子どもが育つ魔法の言葉」 ドロシー・ロー・ノルト／レイチャル・ハリス著より）

厳しすぎず、かますぎなく、甘やかしすぎず、放ったらかし過ぎず・・・

「掌の卵は強く握ると潰れるし、開き過ぎると転げ落ちてしまう」

親に見守られているという安心感により、自由にのびのびと成長します。

子どもの教育や人格形成の最終的な責任は家庭にあります。

子どもの教育や人格形成の最終的な責任は家庭にあります。

6月行事予定

6月 1日(金)～3日(日) 高総体後期
2日(土) 電気工事士試験
4日(月) 高総体報告会
6日(水) 高P連定期総会
8日(金)～12日(火) 定期試験
13日(水)～14日(木) 校内球技大会
15日(金) 計算技術検定、漢字検定

6月18日(月) 性教育講演会
20日(水)～22日(金) 内科検診
22日(金) 情報技術検定
30日(日) ものづくり東北大会



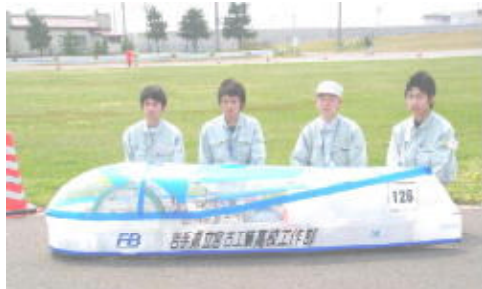
工作部 2007ワールドエコムーブ大会参加

工作部は5月4日（金）・5日（土）に秋田県大潟村ソーラースポーツラインで行われた『2007ワールドエコムーブ大会』に参加してきました。大会本部から支給されたバッテリー4個で、2時間の競技時間内にどれだけ距離を走る事ができるか競う大会です。工作部では1年間かけ2台の競技車両を製作し大会に参加しました。

4日の公式練習は、強風の中、2年生チーム3年生チームとも順調に走行距離を伸ばし、本戦に向けてセッティングの確認もでき満足のいく走行でした。

5日の本戦では風も収まり、2年生チームがジュニアクラス42チーム中21位（58.85km）、3年生チームが23位（58.05km）とこれまでの工作部の記録を更新する結果を残すことができました。

来年の大会では、さらに好記録を出せるよう頑張って製作をしていきたいと思ひます。



P T A 総会開催

5月12日（土）学校において、会員45名の参加をいただき総会を開催いたしました。前年度と比べて参加者が少なくなりました。

総会では、副会長へ後藤英雄さんの後任として小向義昭さんの就任をはじめ、各議案は原案通り承認されました。

教育振興会事務局から「教育振興会のあり方」について、設立からだいぶ経過していることなどの理由から検討していくことが提案されました。長谷川顧問から経過等も説明され、来年度の総会までに今後のあり方について方向性を探っていくことが確認されました。

また、この6月8日（金）には母親委員会による花壇作りが予定されています。よろしくお願ひいたします。



5月16日（水）、青空の下、生徒会の恒例行事である「津軽石川原清掃」が行われました。

川原清掃は、創立20周年へ向けて生徒会活動を盛り上げようという機運の中、地域の声に応える形で「地域に恩返しをしよう」「マナーを見直そう」と平成3年度から始められ、今年で17回目となりました。

国道沿いの歩道や川原の整備が進められたこと、従来の区域のゴミが減ってきた事などから、今年度は清掃区域が一部

見直しになりました。

基本となる清掃範囲は正式名「津軽石川原及び国道45号線の清掃活動」のとおり変わりませんが、弘川駐車場周辺などが外れ、代わりに大須賀海岸や、川原でこれまで範囲外だった場所が追加されました。



今年集まったゴミは78袋、その4分の1くらいは新しい清掃区域からのものでした。しかし、ゴミがあまりない区域もあり、今後も清掃範囲の検討は必要となりそうです。また、以前の清掃範囲が復活することのないよう、生徒職員ともに気を付けていきたいと思ひます。

協力：宮古市役所 環境保全係・きれいなまち推進室

岩手県警 宮古警察署・津軽石駐在所／宮古運動公園